

木柵池（もっこくいけ）

位置図



諸元

貯水量	446 千m ³
満水面積	4.9 ha
集水面積	15 ha
受益面積	261 ha
堤高	27.1 m
堤長	298.0 m

木柵池は、満濃池の南（旧仲南町南部）に位置し、仲南町春日など二級河川財田川と照井川に沿って広がる水田地帯にかんがい用水を配水しています。

昭和 19 年築造時の木柵池は、堤高 13m、貯水量 80 千m³でしたが、受益地内では場整備を推進するにあたり、用水の確保が必要であったことから、昭和 58 年に増築が計画されました。その後、計画の見直し等を経て、平成 3 年に堤高を 14m 嵩上げし、貯水量を 446 千m³に増量するとともに、山麓にある 28 箇所の小規模ため池とパイプラインで結び、配水管理の自動制御を可能としました。

平成 6 年の大干ばつ時には、春先からの少雨により木柵池も満水になっていませんでしたが、幹線排水路の下流に設けた逆調ポンプ（下流から上流へ水を押上げるポンプ）で地区内の排水を反復利用することにより、干ばつの被害を最小限に食い止めることが出来ました。

現在では、まんのう町仲南地区の水田 261ha に農業用水を供給しており、仲南地区の営農に無くてはならないため池となっています。

また、例年 12 月上旬には、木柵池に親しんでもらうためのマス釣り大会（同池水利組合主催）が開催されており、県内外からの釣り人で賑わっています。釣りの腕に自身がある方は、一度ご参加されてみてはいかがでしょうか？



木柵池



マス釣り大会の様子